

オンライン・トークイベント開催のご案内

作家 小野正嗣 x 国境なき医師団
～コロナ禍の人道危機、人びとに寄り添う医療とアート～

2020年7月11日(土) 14:00～15:30 / YouTube Live

国境なき医師団 (MSF) 日本は、芥川賞作家で早稲田大学教授の小野正嗣氏を迎え、MSF 日本会長で外科医の久留宮隆とともにオンライン・トークイベントを下記の要領で開催します。コロナ禍の世界においては、難民や移民など従来から厳しい暮らしを強いられてきた人びとが、さらに弱い立場に置かれています。本イベントでは、紛争地などで医療援助活動に従事してきた久留宮医師と、文学を含むアートについて広く語ってこられた小野氏がそれぞれの立場から、難民・移民の現状を中心に、こうした人びとに寄り添う互いのアプローチや役割について意見を交換します。先進国を含む世界を揺るがした未曾有のパンデミック。このような時にこそ、あらためて世界に目を向け、様々な立場から自分たちに何ができるのか、参加者とともに考える機会となることを目指し、広く参加を呼びかけます。

記

【イベント概要】

日時 2020年7月11日(土) 14:00～15:30
会場 YouTube Live にてオンライン開催
参加費 無料 (通信にかかる費用は参加者負担)
定員 なし
申込サイト <https://www.msf.or.jp/event20200711/>
申込締切 2020年7月10日(金) 18:00
主催 特定非営利活動法人 国境なき医師団日本
問い合わせ event@tokyo.msf.org



申込サイト

【登壇者略歴】

小野 正嗣 (おの・まさつぐ)

1970年、大分県生まれ。作家。早稲田大学文学学術院教授。2018年よりNHK「日曜美術館」のキャスターを務める。著書に、『にぎやかな湾に背負われた船』(第15回三島由紀夫賞)、『九年前の祈り』(第152回芥川賞)、『踏み跡にたたずんで』など。訳書に、マリー・ンディアイ『三人の逞しい女』、アキール・シャルマ『ファミリー・ライフ』(新潮社)、アミン・マールーフ『アイデンティティが人を殺す』『世界の混乱』など。東京在住の難民の方取材した「東京スカイツリーの麓で——あるコンゴ人難民の受難の物語」(『新潮』2016年11月号)がある。



© 講談社

久留宮 隆（くるみや・たかし）

1959年、愛知県生まれ。外科医。MSF日本会長。三重大学医学部を卒業後、同部第一外科入局。その後は三重県の地域中核病院での外科に勤務し、済生会松阪総合病院手術室部長、あいち肝胆膵消化器クリニック診療部長、地方独立行政法人桑名東医療センター手術室部長、三重北医療センターいなべ総合病院救急総合診療部長を歴任。現在、三重県津市の永井病院の救急を担当。2004年よりMSFに参加。以降、アフリカ、中東、アジアなど15回の活動に参加。MSF日本理事、同副会長を経て2020年3月より現職。著書に『国境なき医師が行く』（岩波ジュニア新書）。



© MSF

* 登壇者への取材ご希望の方は広報担当までご連絡ください

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平・那須 眞澄

TEL：03-5286-6141 携帯：080-2344-0684 FAX：03-5286-6124

E-mail: press@tokyo.msf.org <http://www.msf.or.jp>

 メディア向けツイッターアカウント：@MSFJ_Press